

### 3-2 年次計画表

みんなが安心して暮らせるよう地域の福祉力を高めます

#### A 福祉の心を育みます

項目	活動メニュー	具 体 的 内 容	実施主体	協力団体	年度別計画					目標指標	
					29年	29年度実施	30年	31年	32年		33年
啓発活動	福祉にふれる 機会の創出	園児が福祉施設の訪問などで、福祉活動に関わることができる機会を創出します。	下呂市 NPO法人	福祉施設等	活動の実践	<b>《10園実施》</b> ・「運動会」「発表会」イベント等に交流 ・施設訪問は未実施	→				実施園数 10/10
		児童・生徒が福祉活動に関わることができる機会を創出します。	市内学校 社会福祉協議会	福祉施設 ボランティア団体等	福祉教育実践の方向性について検討（学校） 福祉教育の実践（学校） 福祉体験学習の開催（社会福祉協議会）	<b>《福祉教育の実践：21校》</b> 小学校13校・中学校6校・高校1校・特別支援1校 福祉体験学習：小学生5,6年生対象（災害をテーマ）11校 100名参加	→				実施校数 21/21
		講演会やイベントなどを開催し、広く市民に福祉を感じてもらえる機会や福祉活動参加のきっかけを創出します。	社会福祉協議会	下呂市	講演会やイベントの開催	<b>《参加者：600名・アンケート実施》</b> ・3/25福祉の映画「聲の形」上映 障害者支援団体等によるブース設営を実施し、活動紹介などの機会となった。また、福祉の映画上映会開催時に、参画者にアンケートを実施	→	（過去2年間の実績を評価し、開催方法等を見直し）	→	結果実態把握 参加数・アンケート（機会づくりになったか）	
		広く市民に対し、認知症や障がいの理解を深める機会を創出します。	下呂市	キャラバンメイト 障がい者支援団体等	認知症サポーター養成講座の開催 障がい福祉講演会の開催	<b>《11回》</b> ・認知症サポーター養成講座 11回 208名参加 ・7/23福祉講演会開催 122名参加	→				開催数 年10回
	福祉活動の周知	下呂ネットや広報紙、インターネットなど様々な手法により、市内の福祉活動を紹介し、福祉への関心を高めます。	社会福祉協議会 下呂市	下呂ネットサービス	下呂市や社会福祉協議会の広報紙などで福祉活動を紹介	<b>《実施》</b> 社会福祉協議会の広報紙で福祉活動を紹介 ・福祉だより年6回発行 ・支部通信 年6回発行	→	新たな周知方法を検討	→	新たな方法による周知	→

みんなが安心して暮らせるよう地域の福祉力を高めます

B 身近な見守りや支えあいの体制を整備します

項目	活動メニュー	具体的内容	実施主体	協力団体	年度別計画					目標指標	
					29年	29年度実施	30年	31年	32年		33年
見守り体制の推進	ネットワーク組織化の推進	地域でのニーズや福祉課題の早期発見のため、ネットワーク組織化（福祉委員会等の設置や情報の連絡経路を示した組織図の作成）を推進します。	自治会 福祉委員会 社会福祉協議会分会 民生委員児童委員	社会福祉協議会	ネットワーク組織図の整備・更新	《福祉委員会・社会福祉協議会分会設置数49/51》 《ネットワーク組織図整備数32/51》	全地区にて福祉委員会設置完了		ネットワークのあり方について検討会を実施		福祉委員会・社会福祉協議会分会設置数 51/51 ネットワーク組織図整備数 51/51
	近隣助けあい活動の手引きの活用	「近隣助けあい活動の手引き」の見直しを図り、地域の困りごとの発見・解決ができるよう適宜、配布・説明を行います。	社会福祉協議会	下呂市自治会	地域福祉リーダーや福祉委員に配布・説明 手引きの見直し	《手引き見直し中》 《新役員全員配布100%》		手引きの見直し		手引きの見直し	見直しの有無 新役員への配布率 100%
	担い手への研修	見守り支えあいの体制強化を図るため、地域福祉リーダーや福祉委員などに対する研修を行います。	社会福祉協議会	福祉委員会 自治会 民生委員児童委員協議会	各地域の状況に応じて、各種研修会を実施	《実施数46/51》 《金山・馬瀬》 ・福祉委員研修会実施 《小坂・萩原・下呂》 ・各地区の福祉委員会開催時に社協より説明					研修実施数 51/51
		地域福祉活動の推進を図るため、市内各地で行われている福祉活動について、事例発表・経験交流などを行う「小地域福祉活動推進集会」を開催します。	社会福祉協議会	下呂市 連自治会 民生委員児童委員協議会	毎年2月頃に開催	《実施》 ・11/29小地域福祉活動推進協議会開催 参加者:120名			福祉活動事例集の作成		
話し合いの場づくり	福祉委員会等の定期的な開催	地域の福祉課題や見守りの状況について、情報共有・協議できるよう福祉委員会等を定期的に開催します。	福祉委員会 社会福祉協議会分会	自治会 社会福祉協議会	年2回以上、福祉委員会等を開催	《年2回以上開催28/51》					開催地区数 51/51
	福祉懇談会等の開催	地域みんなが集まって、生活における困りごとを把握し、地域で解決するための話し合いを開催します。	自治会	福祉委員会 下呂市 社会福祉協議会	地区懇談会等の開催	《開催地区11/69》 《萩原》 ・新規1地区 《下呂》 ・継続5地区(10自治会)	話し合いから生まれた支えあい活動を広報等で紹介				開催地区数 35/69
情報提供	基礎的福祉情報の提供	話し合いや福祉活動を行う上で必要な情報（地区毎の人口推移や高齢化率等）を適宜提供します。	下呂市 社会福祉協議会	—	適宜必要な情報を提供	《提供あり》 ・各地区の福祉委員会やふるさと磨きミーティングにて情報提供					提供の有無
	個人情報の取り扱い周知	個人情報の適切な取り扱いについて、留意事項等を記したマニュアルを作成し配布します。	下呂市	社会福祉協議会 自治会	改正個人情報保護法に合わせ、マニュアルを作成	《未実施》 広報げる等による掲載を検討中	自治会等に配布				配布地区数 69/69

C 地域での交流や仲間づくりを活発にします

項目	活動メニュー	具体的内容	実施主体	協力団体	年度別計画						目標指標	
					29年	29年度実施	30年	31年	32年	33年		
顔の見える環境づくり	近隣のつながり強化	日常生活における近隣でのつながりをひろげるため、あいさつ運動や回覧板手渡し運動などに取り組みます。	自治会 福祉委員会	子ども会育成会	地域毎で取り組む活動の検討	・手渡し推進を記載した回覧板を商工課の協力で作成し、市内全自治会に配布、活用。	活動の実践	→	→	→	→	住民意識調査 (つながりがあると感じるか)  90%
	世代間交流の促進	地域内での交流を深めるため、自治会を単位として、子どもから高齢者までが気軽に集える機会をつくります。	自治会	福祉委員会 民生委員児童委員 子ども会育成会	既存行事の活用や新たな取り組みを検討	《調査未実施》 ふるさと磨きミーティング時に各地区毎で話し合いが出来る体制を構築中	→	活動の実践	→	→	→	自治会への調査 (開催実績：5年に1回実施)  自治会毎の開催数年5回
		小学校区または5地域を活動範囲として、子どもから高齢者までが気軽に集える機会をつくります。	NPO法人 ボランティア団体 社会福祉協議会分会	—	既存行事の活用や新たな取り組みを検討	《開催校区 2校区》 《下呂》 ・上原、中原：年2回 ※ボランティア主催	→	活動の実践	→	→	→	開催数  小学校区または5地域毎に年1回以上
	定期的に集まる場の提供	定期的に誰もが気軽に集まれる場として、歩いて行ける範囲で住民の主体的なサロンやふれあいカフェを設営します。	自治会 ボランティア団体	社会福祉協議会	実践されている活動を社会福祉協議会広報にて紹介	《開催12団体》 ・社協広報紙裏面「地域のよるところ」にて紹介 ・社協登録15団体(13地区)	住民主体の活動として進めることができるよう、立ち上げの手順や事例等を記載したパンフレットの作成	自治会毎に新規立ち上げを検討	活動の実践	→	→	→
仲間づくり	シニアクラブ活動の活性化	シニアクラブへの新規加入を促進し、クラブ活動を活性化します。	シニアクラブ	下呂市自治会	新規加入を目的としたチラシを作成	《会員数4,421名》 ・チラシ作成は未実施 ・各地区で声掛けによる会員勧誘	チラシを活用して市民に周知 自治会との協力体制について検討会を開催	→	→	→	→	会員数  5,000名
	当事者支援	子育て・介護・障がいなど同じ悩みを抱えている方同士が集まり、情報交換や悩み相談、つながりを強化する機会づくりを支援します。	下呂市 相談支援事業所	当事者組織	各分野での意見交換やつながりをひろげる場づくりを支援	・認知症カフェ 毎月開催 ・フリースペースサロン 毎月開催 ・団体活動支援として広報下呂に紹介 ・下呂市社協事業として介護者の集い、おひとり暮らし高齢者の集いを地域単位で1回以上実施	困りごとの把握	関係機関の支援体制検討	→	→	→	—

D 災害に対する取り組みを強化します

項目	活動メニュー	具体的内容	実施主体	協力団体	年度別計画					目標指標	
					29年	29年度実施	30年	31年	32年		33年
啓発活動	防災意識の向上	講演会などの開催により、広く市民に自助・近助・共助の重要性を伝えます。	下呂市	自治会 防災士会 社会福祉協議会	防災に関する講演会を毎年開催	《230名》 ・12/15下呂市地域づくり・防災講演会開催	→				参加人数 300名/回
防災・減災活動	要支援者の把握	地域内の要支援者等を把握し、避難行動要支援者名簿を活用することにより、安否確認や避難支援体制の整備を図ります。	自治会	下呂市 民生委員児童委員 福祉委員	名簿の毎年更新 地域での安否確認や支援体制整備への活用	《活用地区半数程度》 ・要支援者登録者が50%未満の為、自治会説明会等で登録の依頼 ・システム化を図りH30より随時対応可	→				名簿活用地区数 88/88
	一声運動の実施	警報発令時や大型台風の接近などが予測される場合、未然に被害を防止するため、要支援者等に注意を呼び掛ける一声運動を行います。	民児協 福祉委員会 社会福祉協議会分会	下呂市 社会福祉協議会 自治会	仕組みづくりと実施体制の構築	《未実施》 検討中	活動の実践	→			取り組み地区数 51/51
	福祉防災マップ作成や防災関連訓練の実施	福祉防災マップの作成や災害図上訓練（DIG）などに取り組むことで、要支援者の把握を行い、災害時の対応に備えます。	自治会 福祉委員会	自主防災組織 消防団 防災士会 下呂市	地域毎の防災・減災活動の実践	《22地区実施》 土砂災害防災訓練において、DIG訓練、ハザードマップ等の検証を各区毎で実施 参加者1,590名 《小坂》1地区《萩原》7地区《下呂》1地区	→				取り組み地区数 30
災害ボランティアセンター	周知・啓発活動	災害ボランティアセンターを広く周知することで、機能向上を図ります。	社会福祉協議会	下呂市	広報やイベントでのブース設営などによる周知啓発	災害ボランティアセンター機能や役割の周知 ・各単位民協にて説明済 ・H30.8月までに自治会へ周知予定	→				周知の有無
	設置・運営訓練の実施	市民の参画による災害ボランティアセンター設置・運営訓練を行うと共に、円滑に運営するためのマニュアルの見直しを行います。	社会福祉協議会	下呂市 自治会 防災士会 災害ボランティア連絡会	設置運営訓練を毎年実施 マニュアルを見直す検討会を開催	《未実施》 平成30年度、南部・北部で開催予定	→				実施の有無

みんなが安心して暮らせるよう困りごとに寄り添い解決します

E 福祉サービスの充実を図ります

項目	活動メニュー	具体的内容	実施主体	協力団体	年度別計画						目標指標	
					29年	29年度実施	30年	31年	32年	33年		
ニーズ調査・研究	困りごとの把握	地域福祉課題や高齢者や障がい者、介護者などの困りごとを把握します。	下呂市 社会福祉協議会	本計画 推進協議会	アンケートの検討・実施	《実施》 高齢者世帯を対象としたアンケートを実施	→					実施の有無
	困りごとに対しての話し合い	上記から見えてくる課題を解決する福祉サービス・社会資源を検討します。	本計画 推進協議会	下呂市 社会福祉協議会		—	検討会の実施	→	→	→	→	実施の有無
生活支援	身近な支えあい活動の実施	地域での話し合いによって検討された支えあい活動などを実施します。	福祉委員会 社会福祉協議会分会 民生委員児童委員	自治会 地区ボランティア	活動の実践	萩原町中呂地区『美里カフェ』 活動開始	→	→	→	→	住民意識調査	住民意識調査 (身近で支えあいを感じるか) 60%
	移動手段の確保	高齢者を中心とした移動困難者に対する移動サービスを研究・開発します。	下呂市	事業者等	調査・研究の実施	《アンケート実施・検討》 ・地域公共交通網形成計画のアンケート実施 ・乗合タクシー「まめなカー」の継続	→	→	→	→	検討された移動サービスのメニュー化	研究の有無
	買い物支援	事業者による移動販売等の拡充や買い物ツアーを検討・実施します。	事業者	社会福祉協議会 商工会	ニーズや移動販売・配達業者の実態調査、移動販売事業者等リストの作成	《検討の実施》 移動販売事業の支援制度を検討	買い物ツアーに係る検討	買い物ツアー等の実施	→	→	→	①研究の有無 ②実施の有無
	生活支援体制整備	シルバー人材センターが提供する生活支援サービスを分かりやすく周知し、サービス内容の拡充を図ります。	シルバー人材センター	下呂市 社会福祉協議会	提供サービス内容の周知	《24メニュー》 24メニューのチラシを作成配布	生活の困りごとに対するサービスの拡充	→	→	→	→	メニュー数 30
		NPO法人、ボランティア団体、事業者、商工会による生活支援サービス提供体制の整備に向けた支援を行います。	社会福祉協議会	NPO法人 ボランティア団体 事業者 商工会	萩原地域で提供されている生活支援サービスの体制強化	《未実施》 検討中	小坂・下呂・金山・馬瀬地域における生活支援サービスの体制整備	小坂・下呂・金山・馬瀬地域における生活支援サービスの提供	→	→	→	自治会カバー率 100%
	生活支援サービス内容を記載したパンフレットを作成・配布します。	下呂市	社会福祉協議会	市内での生活支援サービスパンフレットの作成・配布	《作成・配布無》 生活支援サービスの情報収集と訪問型生活援助サービス内容について検討を実施・金山地域、小坂地域で社会資源マップを作成、更新	パンフレットの更新	→	→	→	→	実施(更新)の有無	
介護予防活動	介護予防教室の開催	健康寿命の延伸を目的として、介護予防教室を各地域で定期的に開催し、地域主体の開催に移行できるよう支援します。	下呂市	総合型地域スポーツクラブ 事業者 自治会 シニアクラブ	介護予防教室拡充検討会の開催、担い手の養成、萩原地域5地区で開催	《2地区実施》 萩原地域2地区(花池、上村)での開催 平成30年度から全地域での開催を検討	全地域で一般高齢者介護予防事業から移行、市内50地区で開催	→	→	→	開催地区数 50地区	
安否確認	安否確認の拡充	事業者等による「高齢者等見守りネットワーク事業」を推進し、支援を必要とする高齢者等の早期発見に努めます。	下呂市	社会福祉協議会 事業者 商工会	提携事業者の拡充(市内新聞販売店・郵便局等との提携)	《協定締結事業者17》	提携事業者の拡充	→	→	→	提携事業者数 20	
		地域で行う新たな安否確認メニューの研究・開発をします。	社会福祉協議会 下呂市	民児協	安心箱設置事業の見直し、新たな安否確認メニューの研究・開発	《未実施》 検討中 安心箱設置事業については、情報の更新を実施	新たな安否確認メニューの実施体制整備	新たな安否確認メニューの実施	→	→	→	①研究開発の有無 ②実施の有無
環境整備	市内各施設のバリアフリー化	公共施設や観光・商工等関係施設のバリアフリー化を目指します。	下呂市 施設管理者	—	公共施設を順次バリアフリー化	耐震工事に併せ公共施設のバリアフリー実施中	→	→	→	→	—	
拠点整備	福祉活動の拠点整備	空き家・空き店舗情報を把握し、福祉活動への活用を検討します。	各種団体	下呂市 商工会	空き家等活用の検討	《福祉活動拠点0》 ・事業者連携によりHP掲載 ・地域活動拠点として下呂地域中原地区で1拠点	→	→	→	→	活用数 5	
福祉人材の確保	福祉従事者の育成	福祉に関する資格取得支援の検討や福祉事業所での職場体験などを実施します。	福祉事業者	下呂市	資格取得支援等の検討・実施	《市において実施》 資格取得のための支援制度開始 介護保険業者との懇談会開催(9回)	→	→	→	→	実施の有無	

F 相談機能を強化します

項目	活動メニュー	具体的内容	実施主体	協力団体	年度別計画					目標指標		
					29年	29年度実施	30年	31年	32年		33年	
相談機能の強化	支援者連絡先一覧表の作成・配布	見守りが必要と思われる世帯を中心とし、自治会長・民生委員児童委員・福祉委員、市関係機関や社会福祉協議会の電話番号を記した一覧表を作成し、配布します。	福祉委員会 社会福祉協議会分会 自治会	社会福祉協議会 民児協	社会福祉協議会、民児協で素案を作成 福祉委員長会、社会福祉協議会分会で提案	《未実施》 社協案作成済み	各地区で活用					取り組み地区数 51/51
	相談窓口の周知	相談窓口を分かりやすくするため、相談支援機関一覧表を作成し、周知します。	下呂市	社会福祉協議会	相談窓口一覧表の作成	《一覧表作成》 市役所各種窓口、相談事業所、民生委員児童委員に配布	一覧表配布による相談窓口の周知					作成の有無
	相談日の周知	チラシや同報無線、下呂ネット等を活用し、相談日等を周知します。	下呂市 社会福祉協議会	—	相談日等の有効な周知方法の検討	《実施》 市広報お知らせ版・社会福祉協議会会報・市HPに掲載	相談日等の有効な周知の実施					実施の有無
	ネットワーク強化	相談機能を有する機関の連携を強化し、困りごとの早期対応・解決に努めます。	下呂市	社会福祉協議会 相談支援事業所等	相談窓口一覧表の活用による早期対応・解決 相談内容に応じた関係機関による検討会議の開催	《アンケート未実施》 各機関毎に連携を図り支援会議を実施(現在、窓口・連携等を含め検討中)						相談機関アンケート (他機関と連携がとれているか) 80%

G 各種団体の連携及び支援を強化します

項目	活動メニュー	具体的内容	実施主体	協力団体	年度別計画					目標指標		
					29年	29年度実施	30年	31年	32年		33年	
福祉活動支援	ボランティア活動等への支援・拡充	社会福祉協議会が有するボランティアセンター機能を活用し、ボランティア活動が継続して実施できるよう支援します。	社会福祉協議会	ボランティア団体	ボランティア登録制度の周知	《登録数82団体》 ・ボランティア登録制度の周知及び登録を斡旋 ・登録団体に対する各種支援を実施					登録数 80	
		地域の現状や課題を把握し、必要に応じ新たなボランティア活動を創出します。	社会福祉協議会	下呂市	市民生活課題の調査の実施、調査結果を踏まえ、ニーズに対応するボランティア養成の検討	《実施》 高齢者世帯を対象としたアンケートを実施し、必要なボランティア活動を検討中。	新たなボランティア活動の創出					—
		福祉活動を行うNPO法人への支援について検討します。	下呂市 社会福祉協議会	—	NPO法人のニーズ調査 支援方策の検討	《未実施》 検討中			必要に応じた支援の実施		検討の有無	
	福祉人材バンクの設立	福祉人材バンクを立ち上げ、地域福祉活動を行う上でのさまざまな講師を紹介します。	社会福祉協議会	下呂市	福祉人材バンク制度を創設し、人材登録を促進	《未実施》 検討中	人材登録の促進 依頼に応じた人材のコーディネート					登録者数 50 年間派遣数 50
連携強化	情報共有する機会の創出	ボランティア活動者が一堂に会し、情報交換やネットワークの強化を図る交流会を開催します。	社会福祉協議会	ボランティア団体	ボランティア交流会の開催（必要に応じ、活動別や地域別での交流会を開催）	《2回開催》 7/1下呂市ボランティア交流会開催 約70名参加 3/24萩原地域ボランティア交流会開催 約40名参加					開催の有無 年1回	
		NPO法人同士の情報交換やネットワーク強化を図る情報交換会を開催します。	社会福祉協議会 下呂市	NPO法人	福祉関係NPO法人の情報交換会の開催	《未実施》 検討中	福祉関係NPO法人の情報交換会の開催	福祉関係NPO法人の情報交換会の開催			開催の有無 2年に1回	
	在宅生活支援関係機関の連携強化	地域ケア会議（地域連携会議）や、障がい者自立支援協議会などを継続して開催することで、高齢者や障がい者の生活課題を把握し、必要な取り組みについて検討します。	下呂市 障がい者自立支援協議会	各種団体 福祉事業者	会議等の定期開催 生活課題の把握、必要な取り組みの検討	《検討・取組 有》 ・地域ケア会議（18回各地域含む） ・障がい者福祉計画策定に伴い会議開催（12回各部会含む）					①検討の有無 ②取り組みの有無	
周知活動	各種団体の活動紹介	地域福祉活動を行っている団体の一覧表を作成し、配布します。	社会福祉協議会	下呂市	地域福祉活動の実態把握 一覧表の作成、配布	《未実施》 検討中	一覧表の見直し・配布					配布の有無